

新CreoParametricコンバーター(Creo2vps) について

2022年1月6日
デジタルプロセス株式会社

新コンバーター(Creo2vps)について

- Creo7.0対応版からCreoParametric用VPSコンバーターは、新コンバーター(Creo2vps)となります
- 新コンバーターは Creo4.0～8.0に対応しています
- 今後のメンテナンスはCreo2vpsのみとなります
 - 現行版コンバーター(pro2vps)の公開も引き続き行いますが、pro2vpsのエンハンスや障害修正は実施しません
 - 特に問題がない場合はpro2vpsを継続使用していただいて構いませんが、障害等発生した場合は、Creo2vpsへの移行をお願いします
- Creo2vps は無償提供となります (pro2vpsと同様)
- Creo2vps と pro2vpsは、共存可能です (同時にインストールできます)

■ 下記手順でセットアップをお願いします

1. 提供ファイル解凍

- i. Creo2vps_Creo4-8-20211201.zipを任意の場所にコピー
- ii. Creo2vps_Creo4-8-20211201.zipを展開

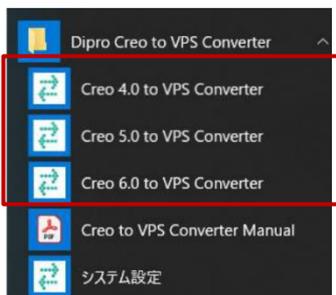
2. インストーラ実行

- i. installerフォルダ配下のsetup.exeを実行して、インストールを実施

※詳細はインストールガイド(Dipro_Creo_To_VPS_Converter_Installation_Guide_ja.pdf)を参照してください

■ 実行方法は下記の通りです

① スタートメニューから、Creo2vpsを実行(Creo x.x to VPS Converter)

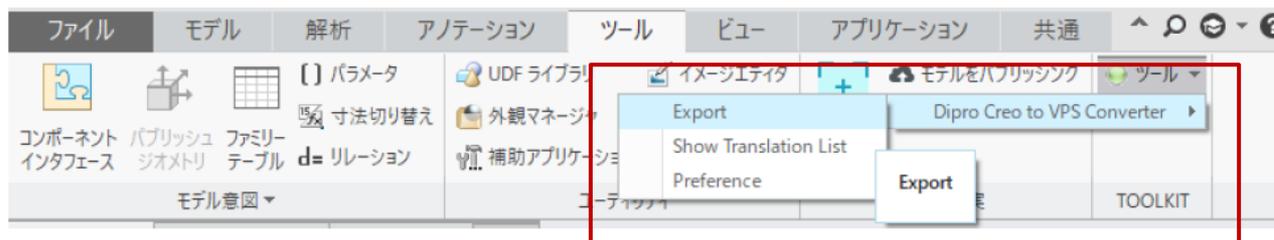


※Creoのバージョンごとに別メニューとなりますので、該当のバージョンを選択してください

※デスクトップショートカットアイコンからでも実行可能です

※通常のCreoParametric起動では変換メニューは表示されないの注意してください
(通常起動で変換メニューを表示させたい場合は、インストールガイドに従って設定してください)

② CreoParametricにて、[ツール]-[Dipro Creo to VPS Converter]-[Export]で変換が実行されます

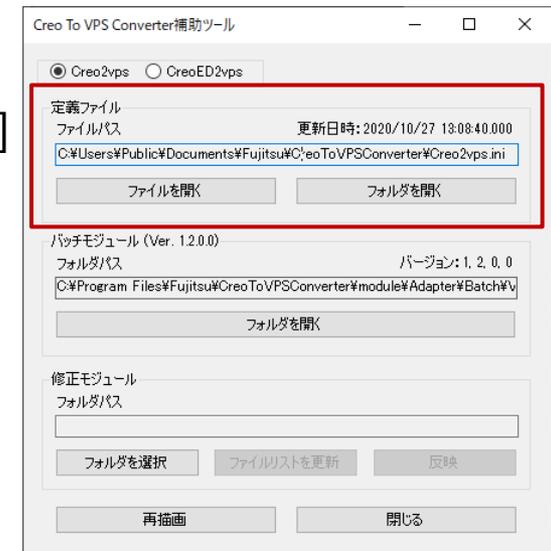


INIファイルについて

- INIファイル名は、Creo2vps.iniとなります
- INIファイルの内容は、pro2vps.iniとほぼ同じです
(pro2vps.iniのファイル名をCreo2vps.iniに変更するだけで流用可能です)
- INIファイルの格納場所は、下記のどちらかになります
(インストール時の指定によって変わります)
 - %LOCALAPPDATA%\Fujitsu\CreoToVPSConverter
 - %PUBLIC%\Documents\Fujitsu\CreoToVPSConverter
- 補助ツールにて格納フォルダが開きますので、活用してください
 - 補助ツールはスタートメニュー-[Dipro Creo to VPS Converter]-[補助ツール]から実行できます



- [ファイルを開く]ボタンで、メモ帳等で開きます
- [フォルダを開く]ボタンで、フォルダが開きます



バッチ実行について

- バッチ実行ファイル名は、Creo2vpsBatch.exe となります
(「<CreoParametric起動コマンド>」から変更になります)
- Creo2vpsBatch.exeはインストールフォルダ配下にあります

➤ インストールフォルダをデフォルトにしていた場合は、下記フォルダになります

C:\Program Files\Fujitsu\CreoToVPSConverter\module\Adapter\Batch\VPS.x64\Creo2vps

➤ 補助ツールを使用することで、フォルダを開くことが可能です

- 実行前に elybatch.cfg の修正が必要となります

➤ マニュアルの7ページに修正方法が記載されていますので、それに従って修正をお願いします (次ページ参照)

- 引数について

➤ 基本的にはpro2vpsと同じですが、下記が変更となります

➤ 変換モデル名の引数に変更されています。
バッチなどを作成している場合は、変更をお願いします。

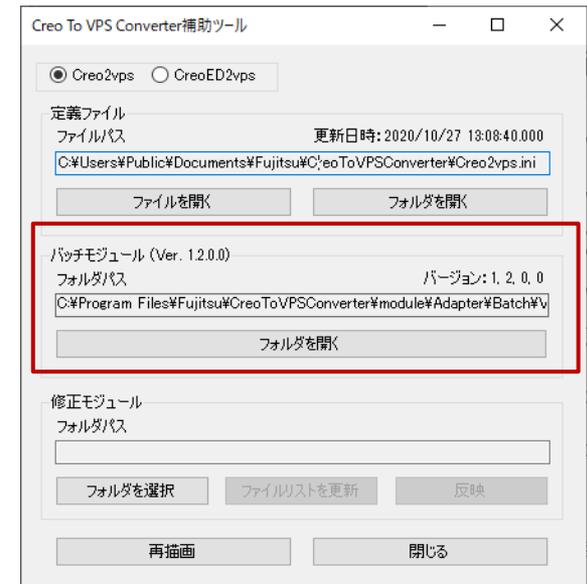
「+**pro2vps**:<変換モデル名>」→「+**input**:<変換モデル名>」

➤ Creoのバージョン指定の引数が追加されています。

指定必須となっていますので、追加をお願いします。

+version:[40|50|60|70|80]

Creo4.0 →「+version:40」、Creo5.0 →「+version:50」、Creo6.0 →「+version:60」、Creo7.0 →「+version:70」



【参考】バッチ実行設定について

■ バッチ実行のための elybatch.cfg の設定は下記のようになります（マニュアル抜粋）

*** バッチ変換 ***

インストールフォルダに格納している Creo2vpsBatch.exe を使用することで、データ変換をバッチ処理で実行できます。

実行を行う前に、Creo2vpsBatch.exe と同じフォルダに存在する「elybatch.cfg」をテキストエディタで編集を行ってください。
以下の赤字の箇所を Creo Parametric インストール時に指定した、Creo Parametric の起動コマンド名に変更してください。
Creo Parametric のバージョンごとに記述されているので使用するバージョンのパスを変更してください。

```
[elybatch.cfg]
-----
MUT_CHECK_DIR    $ESERVER%tools%win
TESSELLATOR     $ESERVER%tools%win

Product          104001 40
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
From_Translator  $ESERVER%ProExe%win%creo40
Pro_Nmsd_Finish
Opt_From_Translator pro_wait
Cad_Start_Ond    C:\Program Files\PTC\Creo 4.0\MO00\Parametric\bin\parametric.bat
Legacy_Mode      0
Batch_Status

Product          104001 50
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
From_Translator  $ESERVER%ProExe%win%creo50
Pro_Nmsd_Finish
Opt_From_Translator pro_wait
Cad_Start_Ond    C:\Program Files\PTC\Creo 5.0.1.0\Parametric\bin\parametric.bat
Legacy_Mode      0
Batch_Status

Product          104001 60
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
From_Translator  $ESERVER%ProExe%win%creo60
Pro_Nmsd_Finish
Opt_From_Translator pro_wait
Cad_Start_Ond    C:\Program Files\PTC\Creo 6.0.1.0\Parametric\bin\parametric.bat
Legacy_Mode      0
Batch_Status

Product          104001 70
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
From_Translator  $ESERVER%ProExe%win%creo70
Pro_Nmsd_Finish
Opt_From_Translator pro_wait
Cad_Start_Ond    C:\Program Files\PTC\Creo 7.0.1.0\Parametric\bin\parametric.bat
Legacy_Mode      0
Batch_Status

Product          100771 40
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win

Product          100771 50
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win

Product          100771 60
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
Batch_Status

Product          100771 70
Adek_Dir         $ESERVER%tools%win
Batch_Status
```

Creo 4.0

Creo 5.0

Creo 6.0

Creo 7.0

■ CAD-IDの出力結果は、Creo2vpsとpro2vpsとで同じとなります

- 変換直後のASYファイル上では、若干違いがありますが、設計変更機能や、MFG CSV出力での結果は変わりません

例) pro2vps : CAD-ID 1 5 253 18 2 30 20

Creo2vps : CAD-ID 15 5 "253" "18" "2" "30" "20"

■ ログファイル名が変更となります

- pro2vps : ファイル名.aux、Creo2vps : ファイル名.log

※Creo2vpsでもauxファイルは出力されますが、内容は障害調査用の詳細内部ログとなります

■ Creo2vpsでは下記機能が追加されています

- アセンブリ色の変換

- アセンブリに設定した色がVPSに変換されるように対応
- 一部未対応の色もあります（アセンブリで設定した面色等）

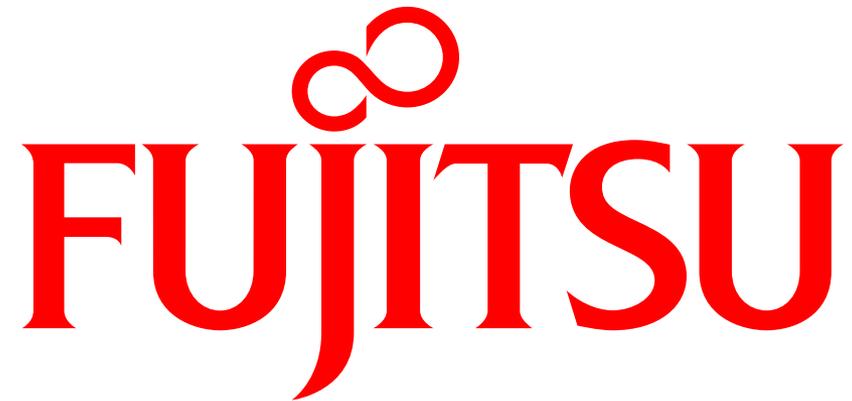
- 天地設定の指定

- 天地設定の指定ができるように対応(INIファイルでの指定)

- マルチボディの変換

- 1 部品に複数形状データが含まれていた場合に、別部品として出力(INIファイルでの指定)

■ Creo2vpsでは処理方法の違いもあるため、pro2vpsより変換時間が遅くなる場合があります。ご了承ください



shaping tomorrow with you